

かけはし

会報 97号 発行:特定非営利活動法人全国LD親の会 発行人:井上 育世
 事務局:〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415
 TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net URL:<http://www.jpald.net/>



第16回総会・第22回公開フォーラム・青年の交流会 報告

テーマ:「発達障害のある人の自立と社会参加のために今できること～親なき後を見据えて～」

日 時 : 2023年6月18日(日) 10:20~16:00

会 場 : 富山県総合福祉会館 サンシップとやま

共 催 : 富山県LD等発達障害及び周辺児者親の会
「ゆうの会」

参加者数:会場参加 68名・オンライン参加申込 227名

今年度の公開フォーラムは、対面開催とオンライン配信のハイブリッドで開催。6月19日~7月18日まで録画配信し、多くの方に視聴していただくことができました。

【基調講演】

「生涯発達の視点から見た、発達障害児・者とその家族の自己実現のために」**講師:水内豊和氏**

(島根県立大学准教授／元・富山大学准教授)

長年にわたり、富山「ゆうの会」の活動を支援して下さった水内先生より、具体的な支援事例をもとに「肯定的な自己理解を育むこと、自己決定を尊重したサポートの重要性」についてお話をいただきました。

【パネルディスカッション】

「発達障害のある人の自立と社会参加を支えるために」

話題提供①「就労自立のために大切なこと」

大島明子氏 (社会福祉法人アルペン会)

就労支援機関の立場から、就労移行支援や就労継続支援A型・B型の仕事の内容などについて具体的にお話をいただきました。就労にあたって必要なこととして「自己理解や相談相手と趣味をもつこと、勉強よりライフスキルが大切」とのお話が心に残りました。

話題提供②

「地域の中でくらしていくために必要な支援とは」

北川 忠氏(富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」)

相談支援機関の立場から、成人期の困難事例の支援について具体的にお話をいただきました。成人期の支援は長期に跨り、多機関(多職種間)の連携が必要であること。学齢期からの支援を通して「自己理解」と「自己肯定感」を育むことが大切であるとお話されました。

話題提供③

「保護者が今・将来に対して考えていること」

対象: 寛田裕美氏(保護者)

学齢期のお子さんをもつ保護者の立場から、中学生の息子さんの将来について「社会参加」「生活」「支援」の視点から整理してお話をいただきました。「きょうだいも自分の人生を生きてほしい」と、親としての率直な思いをお話しされました。

話題提供④「今とこれからを考えた親のかかわり」

対象: 橋本真由美(保護者・ゆうの会会員)

青年期の保護者の立場から、学齢期からのお子さんの様子や就職後、体調を崩して休職され、さまざまな相談機関の支援を受けながら復職された経緯についてお話をいただきました。厳しい状況の中でも「失敗しても大丈夫。信頼できる人をたくさん持つことを目標に支えていきたい」との言葉に力づけられると思いました。



【参加者アンケートより】

- それぞれの立場から、現実的な状況・思い・できる支援、そのための大切な社会状況について、正直な思いを話され、共感できた。
- 保護者の生の声は、このような場でないと聞くことがないので、改めて考える機会になりました。



日本郵便 年賀寄付金

第22回公開フォーラムと
 発達障害の青年啓発セミナーは、2023年度日本郵
 便年賀寄付金の助成を受けて開催しました。

第 16 回総会 報告

日 時 : 2023 年 6 月 17 日(土)12:30~14:00

場 所 : 富山県総合福祉会館サンシップとやま

総数 36 加盟団体中、代表者出席 28 団体、議決権行使 5 団体、委任状提出 2 団体、欠席 1 団体
第 1 号議案～第 3 号議案、満場一致にて承認。

【審議事項】

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告
- 第 2 号議案 2022 年度決算報告および監査報告
- 第 3 号議案 2023 年度役員選任

役員研修会 報告

6 月 17 日(土)総会終了後、研修会「発達障害のある人の就労の現状と課題」を開催し、53 名が参加しました。
(会場参加 22 名・オンライン参加 31 名)

昨年、実施した会員調査「発達障害のある人への就労移行支援における新型コロナの影響」Web アンケートの結果報告をもとに、グループに分かれて意見交換しました。
※「発達障害のある人への就労移行支援における新型コロナの影響」の報告書は、全国 LD 親の会のホームページにて公開しています。

<参加者の感想>

- ・ 全国のお会員さんと交流でき、その地域、お子さんの話を聞けたことがいい刺激になりました。
- ・ 自分の特性を知って、他者に伝えることが大事だとは思うけれども、本人が開示することに抵抗がある場合は難しいと思いました。
- ・ コロナ禍で就労につながらず、やきもきしていましたが、皆さんのお仕事を続けておられる今までのご苦労が聞けてよかったです。



日本郵便 年賀寄付金

発達障害の青年啓発セミナー 青年交流会

「富山市電の車庫見学に行こう！」報告

6 月 17 日(土) 4 年ぶりに対面で青年交流会を開催し、全国各地から 18 名の参加がありました。富山県総合福祉会館に集合し、ワークショップでゲームをしながら交流しました。水内先生よりルールを説明していただき、ゲーム後は必ず受容的なコメントで締めくくるという方法で行われ、終始楽しく和やかな雰囲気で盛り上がりました。

その後、班ごとに分かれて、富山市電と富山地鉄電車を乗り継ぎ、市電の車両車庫に向かいいました。整備の仕方や電車の構造を見学し、運転士体験を行いました。

懇親会では、ワークショップと車両見学で親しくなった班ごとにバイキング料理と会話を楽しみました。

<参加者の感想>

- ・ 普段は中々こういう機会がないので、参加してグループのメンバーとも仲良くなれ、懇親会や車庫見学など楽しむ事ができて良かったです。
- ・ 今回の青年交流会は鉄オタにとって楽しい日でした。他県から来た参加者さんと話ができ、美味しいものが食べられて嬉しかったです。また、路面電車の車両基地も見学できて最高でした。



ホームページ リニューアルのお知らせ

6 月の総会終了後に、全国 LD 親の会の HP のトップ画面をリニューアルし、地域の親の会や支援員養成講座・公開フォーラムなど、全国親の会主催で行っている事業などがわかりやすいように掲示しました。

また、勉強会や講演会が探しやすいうようにバナーを作成し、イベント一覧には、全国親の会主催のイベントだけでなく、各地域の親の会が開催しているイベントの紹介も載せています。行政勉強会など、全国の親の会の会員だけが参加できる勉強会イベントがあることも知つてもらい、親の会への入会に繋がり仲間が増えていく事を期待しています。

今後も、知りたい情報がわかりやすく掲載できるように検討していきたいと思っています。

特定非営利活動法人 全国 LD 親の会

一般社団法人 日本LD学会第32回大会 報告

日 時 : 2023年10月8日(日)~9日(月・祝)
会 場 : 広島国際会議場／広島市文化交流センター
+オンデマンド
大会テーマ : 「多様性に寄り添う個別最適な支援
 ~異領域でつなぐ、専門性でつなぐ~」
大会会長:湯澤正通氏（広島大学）

10月8日～9日、広島国際会議館にて日本LD学会第32回大会が開催されました。2日間にわたり、大会企画シンポジウム・特別講演等13講座、自主シンポジウム48講座が開催され、ポスター発表104件が展示されました。(企画シンポジウム・教育講演・自主シンポジウム(7講座)は、11月末までオンデマンド配信)

親の会企画シンポジウムも対面開催となり、当日は80名ほどの方にご参加いただきました。

親の会企画シンポジウム

日 時 : 2023年10月8日(日) 16:45～18:15
 (11月30日までオンデマンド配信)
テーマ:「ICTを活用した個別最適化された学び
 ~GIGA端末活用の取り組み~」
話題提供1: 「保護者から見たGIGAスクール
 ~1人1台端末等の活用状況調査～報告」
 粟野 健一(NPO法人全国LD親の会)
話題提供2: 「iPadを活用した子どもたちのかけがえ
 のない「今」を支える取り組み」
 澤 勝也氏(鳥取県教育委員会いじめ・
 不登校総合対策センター次長)
指定討論者: 近藤 武夫氏
 (東京大学先端科学技術研究センター)



【開催趣旨】

全国LD親の会が2023年1～3月に実施した「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査～」によって見えてきた発達障害のある児童生徒の学びの状況をもとに、地域におけるICTを活用した「個別最適化された創造性を育む教育」について考える。

【話題提供1】

「保護者から見たGIGAスクール」 粟野 健一

会員調査「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査」の結果について報告しました。(アンケートは、小学生・中学生・高校生の子どもをもつ会員を対象に実施し、140名(小学生69名・中学生43名・高校生28名)の方から回答をいただきました。多くの会員の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。) **<アンケート結果より>**

○インストールする音声教材等については、学校ではなく、保護者が申請しており、家庭学習での使用にとどまっている。

○授業における活用は少しずつ進んでいるが、試験時における端末の活用は進んでいない(タブレットに試験問題を取り込み、音声を聴いてテストを受けることやキーボード入力は認められていない)。

○板書のカメラ撮影・タブレットへのキーボード入力・音声入力等が認められているケースがあるが、ごく少数にとどまる(「配慮がなく、鉛筆で手書きしている」という回答が多い)。

全国LD親の会では、今後も子ども達の個別最適な学びの保障を求め、働きかけていきたいと考えています。

【話題提供2】

「iPadを活用した子どもたちのかけがえのない「今」を支える取り組み」 澤 勝也氏

澤先生は、いじめ・不登校等の教育相談および「LD等専門員」として、発達障害のある子ども達をご支援くださっています。困難さがある子ども達の背景や要因、内面に寄り添い、子どもの安心感と意欲・自信を育み、子どもの自己実現を支える取り組みについて、具体的な事例を交え、分かりやすくお話しいただきました。

【指定討論】

近藤先生より「書く困難に対しては比較的、多様な支援が認められているが、ディスレクシア(読み困難)への支援が手薄になっている。音声教材等は学校で申請できるが、いろいろな種類があり、どこに申請したらよいのかも認知されていない。教員もどこから手をつけて良いのか分からず。テストでの合理的配慮なども担任1人では決めることがないので、地域資源との連携やテクノロジーを活用するためのシステム(しくみ)が重要。」とのお話があり、議論を深めることができました。

参考:音声教材情報提供サイト AccessReading

<https://accessreading.org/aem/>

親の会ポスター展示

今大会では4年ぶりに、各地の親の会の活動紹介ポスターを展示しました（13会展示）。また、スクリーンに各会の活動を紹介するスライドも映写しました。

広島「明日葉」の青年が手作りしてくれた、各地のご当地マスコット（編みぐるみ）を配した日本地図も展示しました。多くの方に关心を持っていただき、親の会について知っていただくことができました。



親の会懇親会

平和公園近くの居酒屋「月あかり」にて、4年ぶりに懇親会を開催し、22名の参加がありました。親の会企画シンポジウムにご登壇いただいた澤先生を交え、コロナ禍のブランクも感じないほど、全国の仲間と交流を深めることができました。

大会の準備から当日の運営まで、広島「明日葉」の皆様に大変お世話になりました。誠にありがとうございました。



2024年度 日本LD学会第33回大会

テーマ: Face to Face の関係構築・地域づくり

—地方・地域の Good Practice をもとに

日本の LD 支援と LD 研究を一步進めよう！—

会期: 2024年10月19日(土)～20日(日)

会場: 神戸国際会議場／神戸国際展示場 1号館

+オンライン

大会会長: 松本秀彦氏(国立大学法人 高知大学)



会員調査(Webアンケート)について

昨年度、実施した「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査～」にご協力いただき、誠にありがとうございました。第32回日本LD学会大会(広島)の親の会企画シンポジウムにて、タブレット端末の利用状況や子どもの特性に合わせた活用がなされているか等、調査結果について報告しました。報告書は、2023年度末までに作成する予定です。

また、来年度の「教育から就業への移行実態調査V」の実施に向けて検討を進めています。

<GIGAスクールアンケート 自由記述より>

○今後、地域差や公立私立の差なく、どの学校でも全ての子どもが個に応じた学びができるようになり、学ぶことを諦めないですむ社会になることを願っています。

○多様な学びを認めてほしい。不登校でも学びのチャンスをしっかりと与えてほしいと思う。

ディスレクシア月間 2023 「ディスレクシアだから大丈夫！」

10月はディスレクシア月間です。2023ディスレクシア月間実行委員会(認定NPO法人エッジ・日本LD学会・全国LD親の会・大阪医科大学LDセンター・発達性ディスレクシア研究会)の各団体が、「ディスレクシアを知つてもらおう」を合言葉にそれぞれの啓発活動に取り組んでいます。

ディスレクシア月間(All JAPAN)ホームページ

<https://takanao00.wixsite.com/all-japan-dyslexia>

全国LD親の会では、各教育委員会宛に学校図書館・公立図書館の「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望書」の提出を、地域各会にお願いしました。



【要望事項】

- 音声化された図書、ルビがふってある図書、電子化された書籍等(映像を含む)などが利用できる環境を整えてください。
- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」第二条にあるように、この法律における「視覚障害者等」とは、視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍について、視覚による表現の認識が困難な者であることなどの啓発活動をおこなってください。

障害者差別解消法改正(合理的配慮の提供義務)

障害者への合理的配慮の提供を民間の事業者にも義務付ける障害者差別解消法改正法が、令和6年4月1日に施行されます。

障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)は、平成28年4月から施行された法律です。不当な差別的取扱いについては、国・地方公共団体、民間事業主全てに法的義務があります。しかし、合理的配慮の提供については、国・地方公共団体には法的義務がありましたが、民間事業者は今まで努力義務となっていました。令和3年6月4日の障害者差別解消法の法改正(令和6年4月1日施行)により、民間の事業者も合理的配慮を提供する法的義務を負うことになりました。

「事業者」とは、商業その他の事業を行う企業や団体、店舗であり、目的の営利・非営利、個人・法人の別を問わず、同じサービス等を反復継続する意思をもって行う者で、個人事業主やボランティア活動をするグループなども「事業者」に入ります。

親の会の活動では「合理的配慮」という言葉によく出会いますが、実際の場面では戸惑うことも多いと思います。内閣府でも認知度を高めるためポータルサイトを立ち上げています。

障害者の差別解消に向けた理解促進ポータルサイト

—「合理的配慮」を知っていますか—

<https://shougaisha-sabetukaishou.go.jp/>

発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック～親の会30年の経験から～

全国LD親の会の活動も30年を迎えたことから、子育て中の困りごとや悩みのエピソードや工夫したことを会員から集め、現在子育て中の方々が自分らしく子育てしていく上で参考になりそうなことをテーマごとにまとめています。「こうすれば良かった」「もっと他に対応の仕方があった」といった反省点も含め、会員の体験談をたくさん掲載しています。

○生活の基礎づくり編

- 第1章 食べること 第2章 衣服の着替え
- 第3章 生活リズムを整える 第4章 清潔に過ごす
- 第5章 お金の管理
- 第6章 コミュニケーションの基礎を育てる
- 第7章 身の回りのことやお手伝いなど

○集団の生活編

- 第1章 集団での行動 第2章 友だちとのトラブル
- 第3章 自分勝手に見えてしまう行動
- 第4章 スケジュールの管理や持ち物
- 第5章 放課後の過ごし方 第6章 不登校

○社会の中で生きるちから編

第1章 社会とかかわる第一歩

第2章 社会を学ぶ第一歩 第3章 自立の第一歩

第4章 趣味を持つ 第5章 主体性をはぐくむ

第6章 七転び八起き



価格: 1,650円(本体価格 1,500円+税)

かもがわ出版のHPからご購入できます。

<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1169.html>

オンライン行政勉強会 報告

第 5 回 「障害者総合支援法概論」

講師: 日詰正文先生 (JDDnet 副理事長 / 元・厚生労働省
発達障害対策専門官)

7 月 9 日 (日) オンラインで行政勉強会を開催し、58 名の参加がありました。日詰先生より、障害者総合支援法の概要と利用できる福祉サービス・最新のトピックについて、具体的にわかりやすくお話しいただきました。

< 参加者からのご意見・感想 >

- 発達障害の子どもを持つ親として、将来のことを考えさせられる内容でした。相談支援や就労支援の事業所など福祉サービスとつながることが支援を受けるためには大切であることを改めて実感しました。
- 障害者福祉のための予算を確保、維持することが多くの努力の賜物だということも分かり、深い感謝の気持ちを持ちました。

第 6 回 「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議について」

講師: 笹森洋樹先生 (常葉大学教育学部教授)

9 月 8 日 (金) オンラインで開催し、39 名の参加がありました。笹森先生より、校内支援体制・通級指導・特別支援学校のセンター的機能の充実等についてお話しいただき、多くの質問にも答えていただきました。

< 参加者からのご意見・感想 >

- 国の取組みが現場を変化させるまでの間に、子どもは学ぶ権利も保障されずに成長してしまう。
- 先生の無理解により傷ついている子どもが多くいます。 笹森先生が言われるよう、「発達を支える、支援する生徒指導」になってほしい。
- 自治体によって仕組みが違っている。独自に工夫してプラスの部分は良いが、標準はしっかりと欲しい。

オンライン役員交流会 報告

全国各地の役員さんが活動についての相談や情報交換できる「オンライン役員交流会」を定期的(偶数月)に午後もしくは夜間の時間帯に開催しています。

● 第 5 回交流会 4 月 15 日 (土) 13:00 ~ 19 名参加

● 第 6 回交流会 8 月 26 日 (土) 19:30 ~ 22 名参加

これまで特にテーマを決めず、グループごとに交流していましたが、第 6 回はテーマ別に
 ①「役員の世代交代について」②「新入会員確保の工夫」
 ③「役員継続のモチベーションの保ち方」④「会の企画・講演会開催の工夫」の 4 つのグループで、参加者に希望するブレイクアウトルームを選んでいただきました。

グループ分けも 1 回のみとし、話し合いの時間も十分とれ、考えを深めあうことができました。

回を重ねるごとに、参加者の皆さんのお意見を伺いながら開催方法も見直しています。親の会の活動や運営の悩みは尽きませんし、すぐに答えが見つかる訳ではありませんが、各会の役員さんにとって、エネルギーをチャージする場になっているのを感じています。

次回は 10 月 28 日 (土) 13:30 ~ 開催します。参加 URL は、各会宛てにご案内しています。事前申し込みも不要ですので、ぜひ気軽にご参加ください。

幼児小学生保護者交流会 報告

全国 LD 親の会では、各会の小学生以下の会員が減少していることへの取り組みとして、オンラインでの全国の幼児・小学生保護者だけの会員交流会を企画し、昨年 1 月から開催しています。

交流会では、参加者が少人数のグループ(同年齢の子どもの保護者・女の子の保護者・不登校について等)にわかれて意見交換をしています。今年は 4 月 21 日と 7 月 6 日に開催し、次回は 11 月 7 日を予定しています。

同世代の保護者の方と関わる事で、学習面や生活面での悩み事に対してタイムリーな情報交換ができ、また、ファシリテーターとして、各会の役員さんにも協力して頂いていることから、親の会ならではの先輩保護者からの経

験談も聞くことができ、充実した交流会となっています。
 7 月からは、より情報発信がしやすいように、情報の掲示板として LINE のオープンチャット(非公開)も活用しています。

★次回予定 : 11 月 7 日 (火) 10:00 ~ 12:00

接続 URL は、各会事務局にお知らせしています。



2023年度 全国会員子どもの構成調査

(正会員36団体の集計)

<総括表>

区分	人 数					男女比	
	男	女	合計	区分比率	前年比	男	女
未就学	10	4	14	0.8%	-12.5%	71.4%	28.6%
小学校	145	46	191	10.7%	+15.1%	75.9%	24.1%
中学校	151	32	183	10.3%	-7.1%	82.5%	17.5%
高校相当	142	40	182	10.2%	-9.5%	78.0%	22.0%
高卒相当	959	255	1,214	68.0%	-3.1%	79.0%	21.0%
合計	1,407	377	1,784	100.0%	-2.7%	78.9%	21.1%

<小学校>

区分	男	女	計
小1	12	4	16
小2	9	3	12
小3	19	6	25
小4	33	14	47
小5	41	8	49
小6	31	11	42
計	145	46	191

<中学校>

区分	男	女	計
中1	45	9	54
中2	46	12	58
中3	58	11	69
その他	2	0	2
計	151	32	183

<高校卒業相当以上>

区分	男	女	計
大学・短大	100	19	119
高等専門学校 4年～	2	0	2
特別支援学校専攻科	4	0	4
専門学校	29	8	37
就労(一般)(月80h以上)	164	28	192
就労(障害枠)(月80h以上)	317	62	379
パート(一般)(月80h未満)	21	14	35
パート(障害枠)(月80h未満)	22	7	29
職業訓練校・委託訓練	5	2	7
就労移行支援	40	12	52
就労継続支援 A型	25	11	36
就労継続支援 B型	92	39	131
地域活動支援センター	11	4	15
その他(自由業者・内職等)	29	7	36
無職(失業中・主婦等)	75	37	112
不明(記入無し)	23	5	28
高校卒業相当計	959	255	1,214

<高校相当>

区分	男	女	計
高1(高専1年)	52	12	64
高2(高専2年)	35	11	46
高3(高専3年)	36	17	53
単位制高校	11	0	11
その他	3	0	3
就労・在宅等	5	0	5
高校相当計	142	40	182

<小学校>

種別	人数	比率	前年対比
通常級(通級利用無し)	64	33.5%	+20.8%
通常級(通級利用有り)	33	17.3%	-17.5%
特別支援学級	82	42.9%	+36.7%
特別支援学校	5	2.6%	-28.6%
その他・不明	7	3.7%	+16.7%
計	191	100.0%	+15.1%

<中学校>

種別	人数	比率	前年対比
通常級(通級利用無し)	73	39.5%	-7.6%
通常級(通級利用有り)	21	11.4%	+16.7%
特別支援学級	66	35.7%	-16.5%
特別支援学校	14	7.6%	+55.6%
フリースクール等	4	2.2%	-20.0%
その他	4	2.2%	+100.0%
不明	3	1.6%	-40.0%
計	185	100.0%	-6.1%

*2名は通常級(通級利用無し)とフリースクールに在籍

<高校生の状況>

	単位制以外						単位制高校						人数 計	人数 比率		
	国・公立			私立			国・公立			私立						
	全日 制	定時 制	通信 制													
普通科	26	2	1	33	0	22	6	8	0	3	1	19	121	66.5%		
専門学科 (商業・工業・農業等)	7	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	13	7.1%		
総合学科	4	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8	4.4%		
高等専門学校 (1~3年)	1				0								1	0.5%		
高等特別支援学校・ 特別支援学校高等部	19	0	0	0	0	1							20	11.0%		
高等専修学校	1	0	0	3	0	0							4	2.2%		
専門学校	0	0	0	1	0	1							2	1.1%		
フリースクール													0	0.0%		
その他													10	5.5%		
不明													3	1.6%		
計	58	3	1	41	0	27	6	8	0	5	1	19	182	100.0%		

高等学校での通級利用 2

	人数	比率
国・公立	76	45.0%
私立	93	55.0%

	人数	比率
単位制以外	130	76.9%
単位制	39	23.1%

	人数	比率
全目制	110	65.1%
定時制	12	7.1%
通信制	47	27.8%

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク (JDDnet)より

◆2023年度第19回年次大会

テーマ :「社会モデルを生きる ~障害の社会的モデルと自己理解からのセルフアドボカシーの重要性について考える~」

日 時 : 2023年12月3日(日)13:00~17:30

会 場 : zoomウェビナーによるオンライン開催

参加費 : 一般 3,500円 会員 3,000円

申込方法 : JDDnetホームページの「申込みフォームページ」よりお申込みください。

<https://jddnet.jp/event231203/>

申込締切 : 2023年11月30日(木)

◆全国LD親の会は、国立国会図書館「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」に、JDDnet理事の立場で委員として参加しています。

令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に基づき、アクセシブルな電子書籍等を提供する民間電子書籍サービスの図書館・学校図書館への導入の推進に向けて検討が進められています。



全国特別支援教育推進連盟 より

◆令和5年度文部科学省委託事業

「発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
(個別の教育支援計画などを活用した継続した指導実践創出のための調査研究事業)」

個別の教育支援計画等を活用した情報の引継ぎに関する先進的な取組み等について、都道府県教育委員会や学校に対してヒアリングや実地調査などを実施し、情報収集を行っています。

◆第45回全国特別支援教育振興協議会

テーマ:「インクルーシブ教育システムの充実を目指して」

日 時:2023年12月1日(金)9:45~16:00

会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター

国際交流棟国際会議室

◆全国特別支援教育推進連盟は、創立60周年をむかえ、「六十年史」を刊行予定です。

令和6年度予算要望書を提出しました

令和6年度予算編成について、6月27日付で要望書を文部科学大臣・厚生労働大臣・子ども家庭庁長官あてに提出しました。

令和6年度 文部科学省関係予算要望事項

<重点要望事項>

1. ICT活用による個別最適な学びの保障
 - ・GIGAスクール構想において、読み書き障害のある発達障害の子どもに対し、通常学級においても子どもの特性に応じ、読み上げ機能等を積極的に活用すること
2. 共生社会に向けて、障害への理解啓発と適切な指導の推進
 - ・すべての教員に対し、障害理解・子どもの人権・共生社会の理念についての研修を実施すること
3. 家庭と教育と福祉の連携「トライアングルプロジェクト」の推進

<その他の要望事項>

1. 通常の学級における学級規模を小さくして指導の充実を促進すること
2. 合理的配慮を確保しつつ、インクルーシブ教育システムの充実の推進を図ること
 - ・すべての教職員に対し、特別支援教育および合理的配慮についての理解を促進すること
3. 切れ目のない支援体制整備の一層の推進と指導の充実をはかること
 - ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用・丁寧な引継ぎ・保護者との共有を一層、推進すること
4. GIGAスクール構想によるICT機器の整備を進め、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを確立すること
5. キャリア教育は本人の特性を考慮し、適切な指導を行うこと
6. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策を整備・周知すること

令和6年度 厚生労働省関係予算要望事項

【厚生関係】

<重点要望事項>

1. 発達障害者支援センターの増設および職員を増員すること
2. 乳幼児から成人まで切れ目なく発達障害に対応できる医療機関を拡充すること

<その他の要望事項>

1. 身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること

2. 発達障害者に対する情報支援体制の整備を拡充すること
3. 感覚過敏等により、公共交通機関の利用が困難な発達障害者に対する外出支援を構築すること
4. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知

【労働関係】

<重点要望事項>

1. 発達障害者の雇用を促進すること

<その他の要望事項>

1. 繼続して働き続けるための支援を充実すること
 - ・ジョブコーチ、障害者就業・生活支援センターによる職場定着支援およびリワーク支援を強化すること
2. 発達障害者に対する相談体制の整備と多様かつ効果的な職業訓練、職場実習制度を充実すること
3. 公的機関における発達障害者の雇用を促進すること
4. 雇用・就業関係機関職員や事業所に対する発達障害の研修を充実すること
5. 障害者就業・生活支援センター事業を拡充すること

令和6年度 こども家庭庁関係予算要望事項

<重点要望事項>

1. 発達支援機関・相談支援機関を拡充すること
 - ・発達支援機関(母子通園等)を増設し、必要な療育をすみやかに受けられるようにすること。
2. 乳幼児から発達障害に対応できる医療機関を拡充すること
 - ・発達障害の専門医師の養成・研修(LDを主訴とする場合の診断研修の充実など)を行うこと
3. 保育士等への発達障害に関する研修を実施すること
 - ・保育園等へ発達障害の専門性をもった支援員を配置すること

<その他の要望事項>

1. 身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること
2. 発達障害児に対する情報支援体制の整備を拡充すること
3. 感覚過敏等により集団生活が困難な発達障害児に対する理解・支援を推進すること
4. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知

◆寄付のお願い「全国 LD 親の会をご支援ください」

NPO 法人全国 LD 親の会は、LD など発達障害の理解啓発や研究事業、本人・家族への支援事業に取り組んでいます。活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。

振込先：郵便振替口座:00120-3-52748 特定非営利活動法人全国 LD 親の会
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

◆ 入会案内 会員募集！機関紙かけはし・メールにて情報提供・ブロック活動へ参加できます。

正会員団体	各地で活動している LD 等の親の会で、全国 LD 親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体	LD 等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員	全国 LD 親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員	全国 LD 親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体 賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。

(賛助会員の年会費は、個人 3,000 円・団体 5,000 円です。)

詳しくは HP をご覧ください(QR コードから入会案内のページがご覧いただけます)



● NPO 法人全国 LD 親の会 活動報告

2023 年

- 1 月 10 日～3 月 25 日 保護者から見た GIGA スクール～1 人 1 台端末等の活用状況調査～
- 4 月 11 日 かけはし 96 号発行 4 月 15 日 各会役員交流会 4 月 21 日 幼児・小学生保護者交流会
- 4 月 29 日 2022 年度事業監査 5 月 06 日 5 月役員ミーティング/第 53 回理事会
- 5 月 12 日/23 日 全国特別支援教育推進連盟第 1 回常任理事会/第 1 回理事会
- 5 月 26 日 全国障害者協議会第 12 回総会/JD 政策会議 6 月 03 日 6 月役員ミーティング
- 6 月 17 日 第 16 回全国 LD 親の会総会(富山)・第 34 回評議員会・第 54 回理事会・会員研修会・全国青年交流会
- 6 月 18 日 第 22 回公開フォーラム(富山) 6 月 18 日 JDDnet 理事会・第 13 回代議員総会
- 6 月 23 日 全国特別支援教育推進連盟第 2 回常任理事会
- 6 月 27 日 文部科学省・厚生労働省・こども家庭庁宛に 2024 年度予算要望書提出
- 7 月 06 日 幼児・小学生保護者交流会/全国特別支援教育推進連盟第 2 回理事会
- 7 月 07 日 全国特別支援教育推進連盟要望書提出・文部科学省と懇談
- 7 月 09 日 第 1 回行政勉強会(障害者総合支援法概論)
- 7 月 21 日 全国特別支援教育推進連盟文部科学省委託事業実践研究企画会議
- 8 月 05 日 8 月役員ミーティング 8 月 23 日～9 月 04 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 1 クール
- 8 月 26 日 各会役員交流会 9 月 6 日～9 月 18 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 2 クール
- 9 月 03 日 島根県親の会設立支援(島根県立大学)
- 9 月 08 日 第 2 回行政勉強会(通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議)
- 9 月 09 日 9 月役員ミーティング 9 月 20 日～10 月 02 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 3 クール
- 9 月 28 日 全国特別支援教育推進連盟第 3 回常任理事会
- 10 月 01 日～10 月 31 日 2023 ディスレクシア月間「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望」
- 10 月 04 日～10 月 16 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 4 クール
- 10 月 05 日 全国特別支援教育推進連盟第 3 回理事会
- 10 月 08～09 日 第 32 回日本 LD 学会大会(親の会企画シンポジウム/親の会ポスター展示)

● 第 53 回理事会報告

開催日:2023 年 5 月 6 日(日)20:00～20:15 開催場所:理事長宅

[決議](1)2023 年度活動方針及び予算案 (2)第 16 回通常総会に付議する議案 (1)(2)ともに全員一致で承認した。

● 第 54 回理事会報告

開催日:2023 年 6 月 17 日(日)14:15～14:30 開催場所:サンシップとやま研修室 703

[決議](1)理事長、副理事長選定